

A decorative graphic featuring three sets of concentric blue circles of varying sizes. Two sets are in the upper right, and one is in the lower right. Thin blue lines extend from the top left towards the circles.

クラシカルホメオパシー —基本講座 2 資料

その 2 「ホメオパシーのレメディって？」

～特に子供の健康管理に役立つレメディ 6 つ～

さて今回は「6つの根本体質レメディ」を学びます。
”根本体質レメディ”は本来他にも多くあります。
一般にその人の全体像に最も類似したレメディの
ことを、”根本体質レメディ”と呼びます。セルフ
ケアで学ぶのは、その時・状況に応じた”状況レ
メディ”です。その中でも最もその人の全体像に近い
ものを選ぶことが大切です。その方がより効果的だ
からです。今回はその”全体像の見方”を学びます。

CHK クラシカルホメオパシー京都

2-1： 前回の反省と今日の学習ポイント

まず、反省です。根本的なことも含めてもう一度考えてみましょう。

質問 3 つです。お答え下さい。

Q1. ホメオパシー的な観点で、「病気」とはどのようなものでしょうか？

また、「症状」とは、どのようなものでしょうか？

Q2. マテリア・メディカのレメディ毎に情報が書いてあります。

その情報は何を根拠にしているのでしょうか？

[]

Q3. ABC レメディは何でしょうか？

[]

今日から具体的にレメディのことを学びます。レメディについてまとめておきます。

- 1) レメディは「薬物」とは違い「生理化学的にある方向に作用するもの」ではありません。
「薬物」の大半は「抗～作用」や「消炎作用」を持つ症状抑制療法であり、根治するという考えがありません。レメディは「その人」本来の（健康な）姿を取り戻してゆくためのものです。健康な状態を取り戻すことで、自力で病を乗り越える力を得るものです。
- 2) ホメオパシーではレメディを「一人の人間」のようにイメージすると理解しやすくなります。
「その人の症状像」と「レメディの症状像」と比較検討するものだからです。
- 3) 「全体的症状像」が似ていれば似ているほど効果（自然治癒が働く）が高い。
レメディは丸覚えするのではなく、その原料が元々、どんなものか？どんな特性（毒性）があるか？など考えると楽しく理解出来ます。それがそのレメディのエネルギーの姿(全体像)を示唆しているからです。
- 4) レメディは「”量”ではなく”質”の次元」のものです。ですから、「多く飲めば良くなる」わけではありません。基本原則は、30C を使う場合、1 日に 1 種類を 1 粒投与すれば十分なものです。（症状が強い場合は、頻度を上げて良い）
できるだけ、少ない量で「その人」が持ち合わせている内的な力を引き出す方が人はより高い健康レベルを得ることができます。自ら治す力を引き出せば良いのですから。

2-2：6つの根本体質レメディ～子供の健康管理に役立つ

さて「6つの根本体質レメディ」を見て行きましょう。この6つのレメディは、子供にもよく利用されるものです。子供の健康管理にこの6つのレメディはとても役立つことでしょう。

”根本体質レメディ”は本来他にも多くあります。その人の全体像に最も類似したレメディは、”根本体質レメディ”と読んで良いでしょう。セルフケアで学ぶのは、その時・状況に応じた”状況レメディ”です。その中でも最もその人の全体像に近いものを選ぶことが大切です。その方がより効果的だからです。今回はその全体像の見方を学びます。では始めましょう！

<NO.1 Calc. カルク・カルボ>

「カルク・カルボ」は牡蠣の殻の内側の白い部分を原料に出来ています。

その成り立ちから分かるように「内側の柔らかいものを外側の堅いもので守る」というイメージが沸いてきます。つまり「防御」と「安定した秩序」という2つのテーマ（キーワード）を持っている。これがこのレメディのエネルギーイメージです。

ここで言うテーマとはその人を根本的につき動かしているエネルギーの姿のことです。

- 生後1年以内の赤ちゃんは「擬似的 Calc.」であり、赤ちゃんの具合が悪い時、効果が出ることが多い。（母胎というパラダイスからこの世という現実へ）他に歯の生え替わり・思春期・更年期など人生の節目に重要なレメディです。
- 子供では特に歯・骨に関するトラブルに良い。（安定した成長に必要なだから）大人では一般に色白。ぽっちゃりタイプが多い。リンパが腫れ気味の人なども。

具体的には（マテリア・メディカ参照）

- 多くの怖れと心配を持っている。＝「恐がり！」
 - ・目を閉じるのが怖いという子供。
 - ・大人では狂気への怖れ・人から見られる怖れ・健康に対する怖れ・貧乏への怖れ・残酷なことを見るのに耐えられない・・・など
- 「マイペース」＝大人では責任感のあるしっかりした仕事をする。
仕事ぶりは“職人氣質的”なやり方が得意です。
 - ・子供の場合は大人から見ると「のろま」に見えるかも知れない。しかし、ゆっくりだが着実に自分のものにしてゆくところがある。
- 特徴的な点は
 - ・太っていることが多い。太りやすい。或いは太るのを嫌がる。
 - ・寒がり風邪をひきやすい。

- ・甘いものと半熟卵（牡蠣のイメージに近い）が好き。デンプン好き。
- ・寒がりなのに多くの汗をかく。汗は酸っぱい臭いがする。

<NO.2 Sulph. サルファース：硫黄>

「サルファース」というレメディは硫黄(いおう) からできています。

「KING of REMEDY」とも言われます。

これが持つエネルギーのイメージはどこかマグマのような”爆発的”なものを持ち合わせた人に合います。キーワードは「HOPEFUL DREAMER」そして「爆発的」です。

具体的に言えば・・・

- 創造力+想像力旺盛。アイデアが一杯な人。但し、出来ること出来ないことも考えずに出してしまうのでアイデア倒れになることもある。
- 哲学的または实际的
- だらしない。部屋や机は汚く散らかっていることが多い。でも掃除をするときは徹底してきれいにするかも。だらしないのは、ひとつのことに、とても集中していて他のことがお留守になる性質のものです。印象として「熱」を感じるでしょう。
- 特徴的な点は
 - ・暑がりです外気が好き。特に手足が熱い。「熱」を感じるでしょう。
 - ・昼前に腹がへる。腹がへるとどうしようもない。
 - ・朝起きて下痢になったりする。
 - ・刺激物好きで卵嫌い。
 - ・身勝手
 - ・男性性（イメージ）
- 子供では、一般に体格の大きな元気な子が多い。遊ぶ時、アイデアマンでみんなのリーダー的存在。神経質で虚弱なサルファースもいる。よく明け方にお腹が痛くなり起きたりする。下痢。

<備考>

サルファースに限らず、大人では長い経験や社会への適応プロセスで「大人のよろい」を着ているので分かりにくいのですが子供のレメディは比較的よく分かるものです。

子供の成長と健康管理にホメオパシーはとても有効です。ここでご紹介している「根本体質レメディ」は深く広く効果があります。これらの見方を理解しておけば、子供が急性用のレメディでもなかなか回復しない時に助かります。

人は生まれながらに先祖からのある体質を受け継いで生まれて来ます。エネルギーレベルの高い子供時代にそういう負の因子を外に出してしまうことで生涯健康に暮らせる基礎が出来あがっていきます。子供は熱を出したり下痢をしたりと色んな症状を出しながら、より健康な成長をします。

<NO.3 Phos. フォスフォラス・燐>

フォスフォラスは「燐：リン」です。「リン」と聞いて何をイメージされますか？

リンさんはいつも「何かと結びつかないとこの世に存在出来ない」物質です。何か他のものと結びつくことによってその存在が輝いたりくすんだりします。テーマは「TOO OPEN」つまり「あまりにも開きすぎている」というタイプです。また、リンは「火のレメディ」とも「放射のレメディ」とも言われます。

リンさんはエネルギー交換がうまく行く内はとても快調ですが、交換がうまく行かないとエネルギー不足に陥り、くたびれたり、無関心になったりします。”マッチ”のことを考えると理解しやすいと思います。

● 主な性格・傾向イメージは・・・

- ・ 外の影響を受けすぎる。
- ・ 同情的で愛情深い。人のことを自分のことのように考えたりする。
- ・ 恐れと心配だらけ。特に雷が怖い。天候の急激な変わり目に不調。
- ・ 暑さ・寒さに敏感。冷え性の人が多い。
- ・ 喉が乾き、冷たい水を飲みたがる。アイスクリームも好き。
- ・ 眠りで回復。たとえそれが少しの時間でも。
- ・ 時に千里眼的な能力を備える。
- ・ 疲れやすい。
- ・ 呼吸器にトラブルが出ることが多い。

- 子供では、友達が多く、とても愛らしい子。誰かによく抱きついたりすること。学校の行事などに一生懸命になり過ぎて、疲れ切ってしまうことがある。まったく逆に引きこもりになることも。ホメオパシーではこういうことを「ポラリティー：極性」と表現します。

<NO.4 Puls. プルサティラ：アネモネ>

プルサティラは別名「ウインド・フラワー」と呼ばれるセイヨウオキナグサを原料とします。風にそよぐ可憐な花びらを持っていますがその根っこは結構しっかりと大地に張っています。女性にとっても関係の深いレメディです。「逆子のレメディ」でもあります。

このレメディのテーマは「見捨てられたくない」です。

見捨てられたり無視されたりすることに強い「恐怖心」を抱きます。ですから、自分に注意を向けるためにいろんなことをします。

- 典型的なのは子供時代によく病気をすることです。それが別名「レメディの女王」とも呼ばれる所以です。症状もコロコロ変わり、機嫌もコロコロ変わったりします。

「プルサティラ」さんはマイルドで優しい感じの人ですが本質的には強さも持っています。「見

捨てられない為には何でもする」ことがあります。外見的なマイルドさとは裏腹に内的に頑固な一面があることも特徴です。根っ子のしっかり感を覚えて下さい。

● 主な特徴

- ・優しい・マイルド・従順・臆病・涙もろい
- ・寒がり。だが暖かさも我慢出来ないところがある。外に出て好転。
- ・喉はあまり渇かない。
- ・意外に好みがうるさい。
- ・なぐさめられたい。
- ・食べ物はサッパリ系が好き。油を使ったコッテリ系は苦手です。
これを食べるとニキビや吹き出物が出たりします。
- ・濃くねばっこい分泌物

部分的にフォスフォラスにも似ていて見分けにくいことがあります。プルサティラさんは表面的にマイルドでもどこか人に従うことを拒絶する感じを受けます。内的に気むずかしいところがあります。

<備考>

ここに書いてある特徴や症状がすべてあてはまる方はいません。個々の特徴・症状等に囚われすぎず、何よりも「全体像」を捉えることが重要です。

個々の特徴はなかなか覚えにくいもので、ひとつひとつ覚えようとするとなんがなんだか分からなくなります。まず初めにこれらの根本体質レメディの全体的なイメージを理解しておく、次第にレメディの「全体像」の違いについて理解できるようになって来ます。

<NO.5 Nat-m. ナット・ムール：岩塩>

「ナット・ムール」の原料は塩（岩塩）です。

このレメディのテーマは「思い出・哀しみを塩漬けにする」です。とても繊細で傷つきやすく、基本的には防御的で閉鎖的です。

「ナット」さんは傷つけられることを恐れ、自分の周りに高い壁（塩のバリア）を作ります。人とは交流しますが、決して本音では交流しようとはせず、あくまで表面的に理性・知性の部分でつき合います。

それだけに内部の感情面は未熟な点が多く、塩の壁の内側は極めて裸のままの本質があり、強く「純愛」を求めたりします。概して理系の方が多いようです。

● 主な特徴は

- ・過敏で傷つきやすい。（傷つきたくない。傷つかせたくない。）
- ・拒否されることを怖れる。
- ・過去の嫌な出来事を繰り返し思い出す。
- ・慰められるのは嫌い。

- ・人を許さないところがある。しかし、信頼する人には極めてオープン。
 - ・塩気のある食べ物が好き。(漬物など)
 - ・一人でいることが平気。
 - ・喉がよく渴く。
 - ・太陽など暑さで悪化(苦手)
 - ・海は好きだが行くと悪化することが多い。
 - ・音楽を聴きながら自分を悲しむ風がある。まるで悲しみを楽しむかのような。
- 子供では、親からみて手の掛からない良い子です。すぐに気配を察して、大人に気遣いしたりします。叱る必要がないような場合が多いのですが、内面は非常にナイーブで、ちょっとしたことで、ひどく傷ついたりしています。友達は少ないでしょう。

<NO.6 Lyc. ライコポディウム： スギコケ>

「ライコポディウム」はスギコケから作られるものです。

そのテーマは「自信がない」です。

このタイプの人には自信がないのですが、能力はあることが多く、人に失敗を見られたりするのをとても嫌がります。

「ライコ」さんはその自信のなさを隠そうとして「傲慢」になったり「横柄」な態度をとることもあります。その一方で元々能力がある故に努力家でもあります。その「自信のなさ」をカバーしようとしてとても頑張ることがあり、しばしば、社会的に成功者となることがあります。弁護士・経営者・大学教授など・・・いわゆる「先生」

● 主な特徴は・・・

- ・ひどい自信のなさ。
 - ・それを傲慢さでカバーしようとする。
 - ・責任を避ける。新しいことを引き受けるのが嫌。
 - ・外面は良いが家では暴君。(内弁慶)
 - ・決められない。責任をとることを避けたがります。
 - ・寒がり。だが外気を好む。
 - ・胃腸が悪い。特にガスが溜まりやすい。ゲップも多く出たりする。
 - ・「右側」に多くの不調。
- などです。
- 子供では、普通はおとなしい子が多いようです。賢くて恥かしがりで、慎重派で、友達は少ないでしょう。

<備考>

Lyc. のような傾向は多かれ少なかれ誰にでもあるもので、深いレベルでは誰にも作用すると言われています。

2-3 : 今日のまとめ

これらの「根本体質レメディ 6 つ」を学んでどうお感じになりましたか？

健康な子供は生命力が輝いています。

子供が病んだ時には、全体（心身まるごと）をよくみて感じてあげて下さい。

子供の「生命力」が乱れた時（＝それが病です）は、心身全体に乱れが表現されているはずです。

また、個々人の生命力の乱れは、個性的に現れてきますから、他の人とは違う個性的な症状に注目すると良いでしょう。

ホメオパシーでは、「全体」を観る。そして「個性的症状」を観る。両面から考えて行きます。

（基本講座その2 終了）